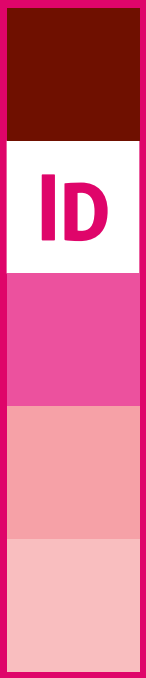
ESSENTIAL GUIDE

エッセンシャルガイド

［グラフィックユーザーのための機能ハイライト］

for Graphic Users

ADOBE® INDESIGN® CS4



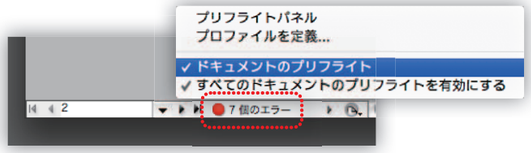
Adobe

新機能1
ライブプリフライト

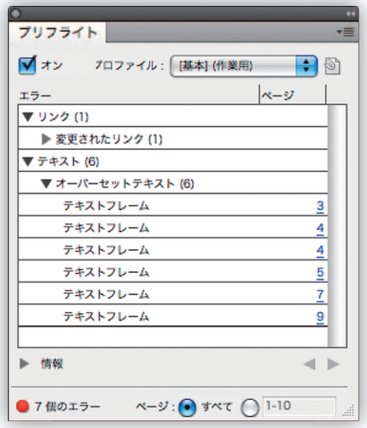
制作したドキュメントが商業印刷に適合しているかを調べるプリフライト。InDesign CS4では、ドキュメント制作過程にリアルタイムでプリフライトできるように進化しました。プリフライト状況は、ドキュメントウィンドウ左下にライブで表示。エラーが生じた場合は赤い信号で表示されるので、すぐに対応できます。また、配置画像を管理するリンクパネルも機能を大幅に向上。サムネール、解像度などの詳細情報を表示できるようになり、ますます便利になりました。

ライブプリフライトで制作過程でエラーを排除

ライブプリフライトによる検証結果は、画面左下に表示されます。エラーが発生した場合は●が●に変わり、エラー数が表示されます。
エラーの詳細情報は、プリフライトパネルに表示され、エラー箇所のページ番号をクリックすれば、問題の場所を素早く表示でき、問題を解決することができます。また、プリフライトパネルでは、プリフライトに使用する項目を定義したプロファイルを選択できます。



1　エラーがある場合、画面左下のステータスバーに●がエラーの数と一緒に表示されます。ステータスバーメニューからプリフライトパネルを開くことができます。

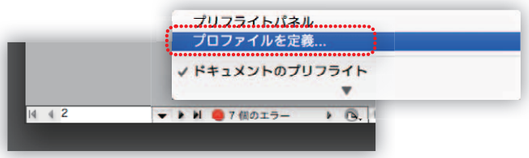


2　プリフライトパネルにはエラー項目が表示されます。リストのエラー項目をクリックすると、パネル下部にエラー原因が表示され、対応方法の判断基準となります。また、ページ番号をクリックすると、該当箇所を表示できます。

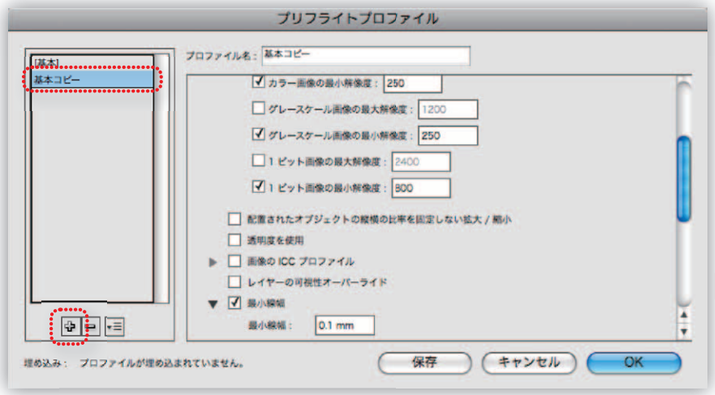
3　表示されたエラー箇所。ここでは、テキストがオーバーセットしているので、文章を編集して減らすか、フレームサイズを広げるかなどで対応します。

用途に適したプリフライト項目をプロファイルで定義可能

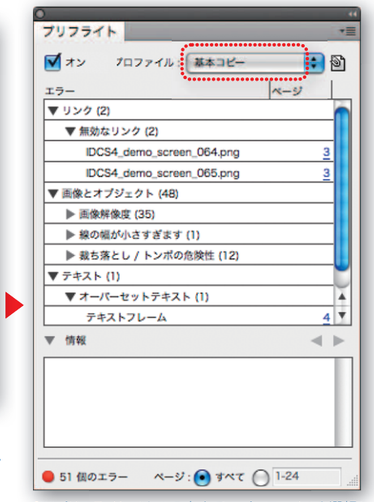
プリフライトする項目は、制作するドキュメントの目的によって異なります。商用印刷目的なら、画像解像度やカラーモード、裁ち落とし幅などが気になります。
ライブプリフライトでは、プリフライトする項目をプロファイルとして定義でき、制作用途によって使い分けることができます。



1　ステータスバーのメニューから「プロファイルを定義」を選択します。プリフライトパネルメニューから選択することもできます。



2　プリフライトプロファイルダイアログボックスで定義します。＋ボタンをクリックして新規プロファイルを追加し、制作用途に応じたプリフライト項目を選択します。保存すれば、プロファイルは完成です。



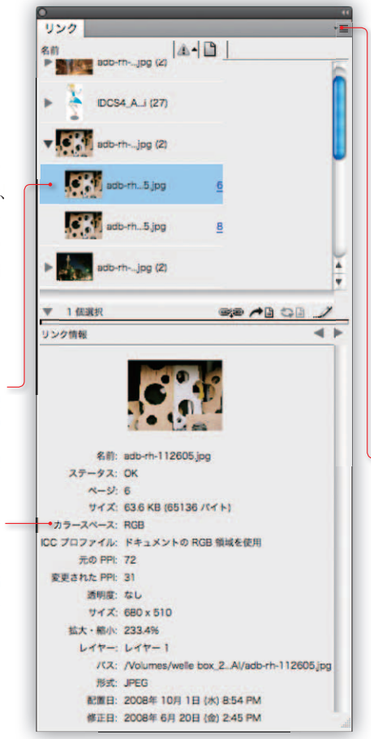
3　プリフライトパネルの右上で、プロファイルを選択。プロファイルで設定された項目がプリフライトされます。

表示される情報量の増えた新しいリンクパネル

プリフライトと同様に、配置画像の管理に利用するリンクパネルが強力に進化。リストに画像のサムネールが表示されるようになりました。また、画面下部には、リストで選択した配置画像の詳細情報を表示できます。詳細情報では、画像のカラーモード、元画像のPPI、配置後の拡大・縮小率、その結果のPPIなどの情報を表示できるため、印刷物に適した画像かどうかすぐに確認できます。

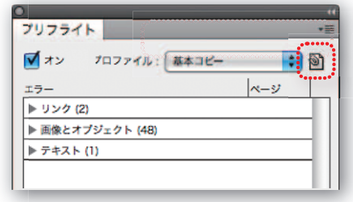
パネル上部（コラムの表示）には、サムネール付きでリンク画像が表示されます。同じ画像が複数の箇所に配置されている場合は、ツリー構造で表示され、画像の管理がしやすくなりました。
Illustrator CS4の複数のアートボードを使った画像を配置した場合は、元画像のページ番号が表示されます。

パネル下部（リンク情報の表示）には、従来は別ウィンドウで表示されていた詳細情報が表示されるようになりました。画像のカラーモード、配置レイヤー、ファイル形式、元画像の解像度（PPI）、配置した後に拡大・縮小した場合の倍率やその結果の解像度など、表示される情報が増え管理しやすくなりました。



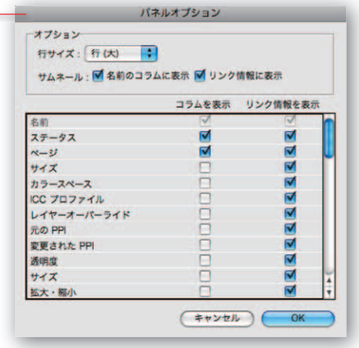
プロファイルの埋め込み

プリフライトに使用したプロファイルは、ドキュメントの中に埋め込むことができます。協業制作など、異なった作業環境でドキュメントを編集する場合は、プロファイルを埋め込んでおくといいでしょう。



表示項目の設定

パネルオプションダイアログボックスで、リンクパネルの上部と下部に表示する情報項目を自由に設定でき、配置画像の管理がより柔軟に行えます。

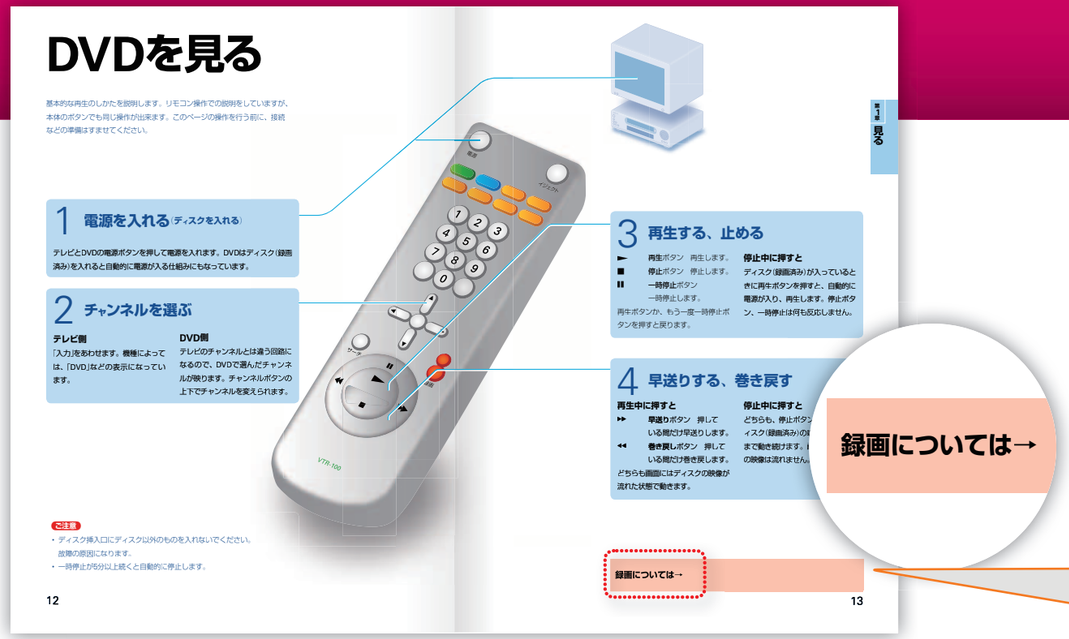


新機能2 相互参照

取扱説明書や論文などでは、他ページの記載内容を参照するために、参照先のタイトルやページ番号などを文章中に挿入することを多用します。
これを自動化する機能が、新機能の相互参照です。
相互参照を使えば、参照先のページ番号やタイトルを、参照元に簡単に自動挿入できます。ページ番号やタイトルが変われば、参照元も連動して変わります。
フィニッシュワークでの確認作業を軽減する、待望の新機能です。

簡単な操作手順で参照先のテキストやページを挿入

相互参照の使い方は簡単です。参照先のタイトルやページ番号を挿入したい箇所にカーソルを置き、ハイパーリンクパネルの相互参照で、参照先を指定するだけ。
参照元で、どのように参照先を表示するかを指定できるので、文章中にページ番号だけを挿入したり、タイトルだけを挿入することも可能です。



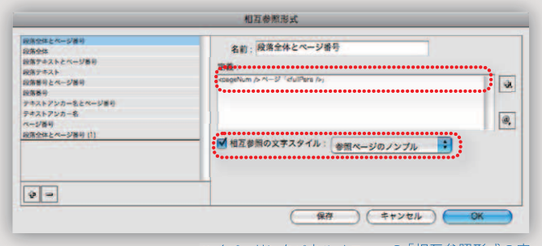
参照先のタイトルやページ番号を、参照元に適切な形式で挿入するのが相互参照です。参照先のテキストやページ番号が変わると、参照元のテキストも連動して変わります。

参照元

参照先

カスタマイズ可能な相互参照形式

相互参照を作成する際に選択する相互参照形式によって、参照元にどのような形式で参照先の情報を挿入するかが決まります。
相互参照形式をカスタマイズすることで、参照先テキストとページ番号を組み合わせて、望んだ形式で挿入することが可能です。また、挿入する相互参照テキストに適用する文字スタイルを設定できるため、相互参照の編集作業が効率化できます。

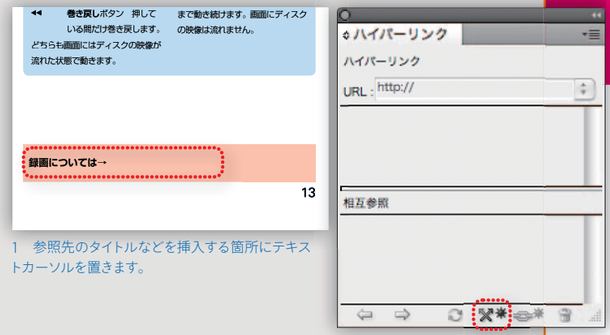


ハイパーリンクパネルメニューの「相互参照形式の定義」で開く「相互参照形式」ダイアログボックス。ここで、参照元に挿入されるテキストの形式を編集できる。

新しく定義した相互参照形式を適用した参照元のテキスト。「相互参照の文字スタイル」を使うと、挿入した相互参照部分には、文字スタイルが自動適用されます。

相互参照テキストを挿入するには

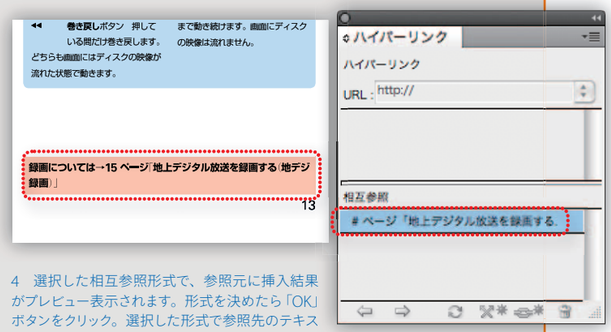
相互参照テキストを挿入するには、参照先のタイトルに適用した段落スタイルを使うのが一般的な方法です。



1 参照先のタイトルなどを挿入する箇所にテキストカーソルを置きます。

2 ハイパーリンクパネルを開き、「新規相互参照を作成」ボタンをクリックします。

3 リンク先に「段落」を選択。参照先のタイトルに適用されている段落スタイルを選択すると、右側のリストにスタイルが適用されているテキストが表示されるので、参照するテキストを選択。最後に相互参照形式を選択します。



4 選択した相互参照形式で、参照元に挿入結果がプレビュー表示されます。形式を決めたら「OK」ボタンをクリック。選択した形式で参照先のテキストが挿入されます。

5 ハイパーリンクパネルの相互参照欄には、登録した相互参照項目が表示されます。
選択して、パネル下部の⇦⇨ボタンをクリックすると、参照元、参照先を表示できます。

同じ相互参照先を他の場所でも使用するには

同じ参照先の相互参照を、他の場所でも使用したい場合は、挿入した参照元のテキストをコピー＆ペーストしてください。

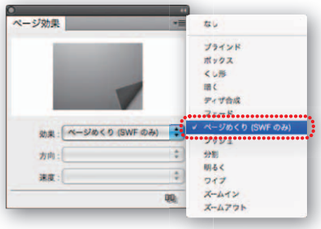
新機能3 Webパブリッシング

紙媒体向けに制作したドキュメントを
Webで利用することが増えてきました。
InDesign CS4では、作成したドキュメントの
SWF書き出しに対応。PDF書き出しに加えて、
Webパブリッシング用のファイル形式が増えました。
さらに、InDesignでのレイアウトデータを
そのままFlashのアセットとして利用できるように、
XFL形式での書き出し機能も搭載。
高精度なレイアウト状態で、InDesignレイアウト
データをFlashで利用できます。

4　書き出したSWFをブラウザで表示。ページの端をドラッグすると実際の本をめくるような感覚でページが切り替わる「ページめくり」効果も簡単に設定できます。

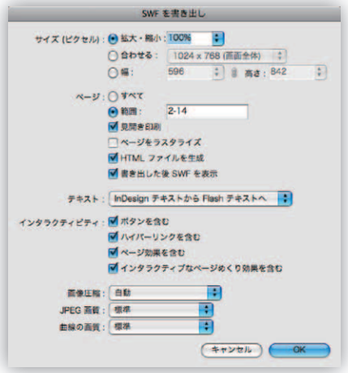
SWF書き出しに対応 印刷用データを手軽にWeb発信

InDesign CS4のレイアウトデータを、SWFファイルに書き出すことができます。InDesignのレイアウト上に、ページ移動用のボタンを配置したり、ページ切り替え効果も設定できるので、印刷用データを少し加工するだけで、インタラクティブなWebパブリッシングデータとして書き出せます。



1　ウィンドウ／インタラクティブ／ページ効果からページ切り替えの効果を選択します。

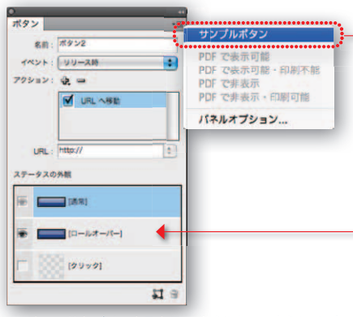
2　ファイル／書き出しを選択し、ダイアログボックスでSWFを選択。



3　SWFを書き出しダイアログボックスで、書き出しオプションを設定します。サイズやテキストの形式、ページ上に配置したボタンやページ切り替え効果を有効とするかなどを設定できます。

ページナビゲーション ボタンも簡単設定

PDFやSWFに書き出す場合に、ページ移動用のボタンがあると便利です。InDesign CS4では、ページ移動用のボタンを作成するためのサンプルボタンを用意。ボタンによるページ移動のアクションは設定されているので、ドラッグして配置するだけでOKです。



1　ウィンドウ／インタラクティブ／ボタン。さらにオプションメニューからボタンサンプルを表示し、好みのボタンを選びます。

2　ボタンオブジェクトの動きは「ボタン」パネルで定義できます。サンプルボタンパネルには、ページナビゲーション用のボタンが用意され、ドラッグするだけで利用できます。

InDesignデータを XFL書き出しして Flashのアセットで利用

InDesignのデータをXFLファイルで書き出しすれば、Flash CS4でそのまま読み込むことができます。レイアウトデザインは高い精度を保ったままなので、FlashでインタラクティブなWebページのベース素材として利用できます。InDesignのページデータは、Flashのタイムラインにページごとに読み込まれます。

Flash CS4で開いたXFLファイル。アニメーション効果などを加えてインタラクティブなページにできます。

WEBへGo!

Adobe InDesign CS4の新機能から、
本ガイドでは特におすすめの3機能に絞って
ご紹介しました。
Webサイト上ではさらに充実した
機能の紹介をしています。
ぜひWebサイトをご活用ください。

その他の機能、続きはWebで!

画像配置の機能向上
複数画像のタイル配置機能で、選択画像を簡単に整列配置できます。また、ドラッグによる画像配置時には拡大・縮小率が表示されるなど使いやすく進化しました。

スマートガイド
ほかのオブジェクトと端が揃ったり、均等の間隔になると表示されるスマートガイド機能で、オブジェクトをスピーディーに配置できます。

スプレッドビューを回転
回転したデザインも、ページを一時的に回転表示して、編集操作がやりやすくなりました。

条件テキスト
ドキュメント内に複数バージョンの作成を可能にする条件テキストは、同じレイアウトで、内容の異なるドキュメントの制作に便利。インライングラフィックを使えば写真も条件テキストとして扱えます。

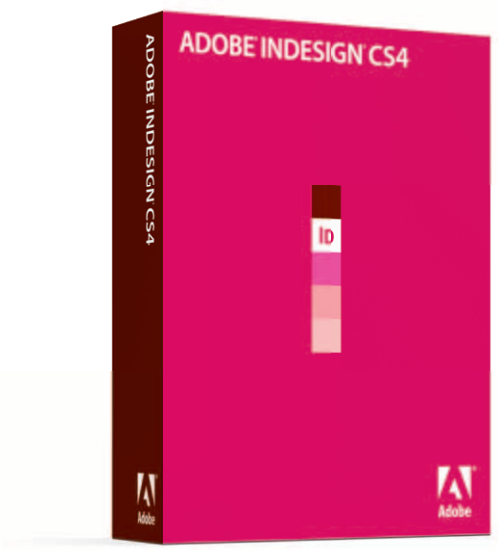
スマートテキストのリフロー処理
文字量に応じてページを自動で追加・削除する機能。文庫や新書など、文字主体のドキュメント制作には便利な機能です。

日本語組版機能の追加
「全角スペースを行末吸収」では、行末の全角スペースを自動でフレームの外に追い出します。これにより、行末や行頭の全角スペースを簡単に吸収させることができます。「欧文泣き別れ」では、欧文テキストをハイフンなしで改行します。

http://www.adobe.com/jp/dg/

ADOBE® INDESIGN® CS4

印刷およびデジタルパブリッシングのための
プロフェッショナルなページレイアウトとデザインを実現



Windows®/Mac OS

Windows

- 1.5GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft® Windows® XP（Service Pack 2）日本語版（Service Pack 3を推奨）、または Windows Vista® Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise（ServicePack 1）日本語版（Windows XP、Windows Vistaともに32-bit版のみ対応）
- 512MB 以上のRAM（1GB 以上を推奨）
- 1.8GB 以上の空き容量のあるハードディスク。ただし、インストール時には追加の空き容量が必要（フラッシュメモリを利用したストレージデバイス上にはインストール不可）
- 1,024×768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ（1,280×800 以上を推奨）、および 16-bit 以上のビデオカード
- DVD-ROMドライブ
- マルチメディア機能を利用するためにQuickTime 7 日本語版
- 付随するサービスのためにブロードバンドインターネット接続

Mac OS

- PowerPC® G5、またはインテル® マルチコアプロセッサ
- Mac OS X v10.4.11–10.5.4 日本語版
- 512MB 以上のRAM（1GB 以上を推奨）
- 1.6GB 以上の空き容量のあるハードディスク。ただし、インストール時には追加の空き容量が必要（大文字と小文字が区別されるファイルシステムを使用している場合や、フラッシュメモリを利用したストレージデバイス上にはインストール不可）
- 1,024×768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ（1,280×800 以上を推奨）、および 16-bit 以上のビデオカード
- DVD-ROMドライブ
- マルチメディア機能を利用するためにQuickTime 7 日本語版
- 付随するサービスのためにブロードバンドインターネット接続

※最新の必要システム構成については *www.adobe.com/jp/products/indesign/systemreqs* をご覧ください。
必要システム構成は予告無く変更となる場合がございます。ご購入前に必ずご確認ください。

ID

ESSENTIAL GUIDE for Graphic Users
エッセンシャルガイド［グラフィックユーザーのための機能ハイライト］

ADOBE® CREATIVE SUITE® 4 DESIGN EDITION 製品ラインナップ

Windows®/Mac OS

ADOBE® CREATIVE SUITE® 4 DESIGN PREMIUM

プリント・Web・モバイルコンテンツ制作のための革新的なトータルデザイン環境

Adobe® InDesign® CS4
Adobe® Photoshop® CS4 Extended
Adobe® Illustrator® CS4
Adobe® Flash® CS4 Professional
Adobe® Dreamweaver® CS4
Adobe® Fireworks™ CS4
Adobe® Acrobat® 9 Pro
　＋Adobe® Bridge CS4
　　Adobe® Device Central CS4
　　Adobe® Version Cue® CS4

Windows®/Mac OS

ADOBE® CREATIVE SUITE® 4 DESIGN STANDARD

信頼性の高いグラフィックデザインと印刷ワークフローのための基本ツールセット

Adobe® InDesign® CS4
Adobe® Photoshop® CS4
Adobe® Illustrator® CS4
Adobe® Acrobat® 9 Pro
　＋Adobe® Bridge CS4
　　Adobe® Device Central CS4
　　Adobe® Version Cue® CS4

※Design Standardに含まれるPhotoshop CS4は、Extendedではなく通常のPhotoshop CS4となります。

お求めは *www.adobe.com/jp/store/*

アドビストア（注文専用） Tel. フリーダイヤル 0120-61-3884　電話受付時間 9:30～17:30（土、日、祝日および弊社指定休日を除く）
カスタマーサポートポータル（ご注文以外のお問い合わせ） *www.adobe.com/jp/support/portal/*

アドビ システムズ 株式会社　〒141-0032　東京都品川区大崎1-11-2　ゲートシティ大崎イーストタワー *www.adobe.com/jp*

この冊子に記載の情報は、2008年11月現在の情報です。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobe PDF、Adobeロゴ、Acrobat、Adobe Bridge、Adobe Device Central、Adobe Illustrator、Dreamweaver、Fireworks、Flash、InDesign、PhotoshopおよびVersion Cueは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。Mac OSおよびQuickTimeは、米国および他の国々におけるApple Incの商標です。インテルおよびPentiumは、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。PowerPCは、International Business Machines Corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
©2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. ASJST776 11/08

Adobe